



主なメリット

- BYOD を安全にサポート
 - 個人データと企業データを分離
 - 機密データ漏洩のリスクを軽減
 - シングルサインオンの認証を利用
 - オンラインおよびオフラインでのコンプライアンスチェックを可能に
 - メール・コンテナ、エンタープライズ・プロファイル、デバイス全体をワイプ
 - シンプルで、直感的なユーザー・インターフェースで、社員の仕事をスローダウンさせません
 - MaaS360 は、機密のメール・データにはアクセスしません
 - メール・データとインラインでないので、パフォーマンスに影響せず、停止のリスクもありません
-

IBM MaaS360 Secure Mobile Mail

モバイル・デバイスでエンタープライズ・メールをコントロール

会社のメールへの保護されたアクセス

IBM® MaaS360® Secure Mobile Mail は、メール、カレンダー、連絡先用の保護されたオフィス生産性向けアプリケーションであり、個人用デバイスでのモバイル・エクスペリエンスを維持しながら、従業員が同僚と安全にコラボレーションを行えます。

IBM® MaaS360® Productivity Suite の基本的コンポーネントとして、データ損失リスクに関する重大な懸念を解決します。

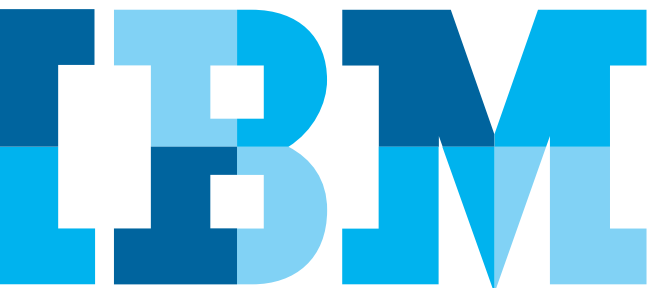
認証や承認によって、許可された有効なユーザーだけが機密のメールやデータにアクセスできます。データフローをコントロールするポリシーで、ユーザーによる共有、添付の転送、コピーや貼り付けを制限できます。紛失、盗難、侵害されたデバイスを選択的にワイプして、セキュアなコンテナ、保護されているメール・コンテナ、すべての添付やプロファイルを削除することができます。

メール保護の適切なアプローチを選択

他のソリューションは、メールの流れの中断、添付の削除、別のアプリケーションのロードによってメールを保護しています。しかしながら、こうしたアプローチは、ネイティブなメール・クライアントや、単に文書を表示するだけのスタンドアロン・アプリケーションの間でのユーザー・エクスペリエンスを支離滅裂にしています。

これに対して、MaaS360 Secure Mobile Mail は MaaS360 Productivity Suite とシームレスに連携して、すべてのメール、カレンダー、連絡先、アプリケーション、文書、Web を、モバイル・デバイス上の分離されたワークスペースで管理します。

そのため、ユーザーは、メールの処理から、文書の閲覧、編集、共有まで、一貫性があるユーザー・エクスペリエンスを維持できます。



強固な個人情報管理 (PIM) アプリケーション

- メール、カレンダー、連絡先を保護
- 認証を提供し、許可されていないメール・アクセスをブロック
- メールや添付をコンテナでコントロール
- 添付を直接アプリケーションで表示
- 表示だけでなく、コンテンツの作成、編集、保存、共有を暗号化された IBM® MaaS360® Content Suite で実現
- Word、Excel、PowerPoint、テキスト、PDF フォーマットなどの一般的なファイル进行操作可能

データ損失を強力に防止

- ファイルのコピー、移動場所をコントロール
- 他のアプリケーションへの転送、移動を制限
- コピー、貼り付け、画面のキャプチャを無効化
- メールの添付だけでなく、メールの本文も保護できます
- デバイスのコンプライアンスチェックを強制する
- 電子メールの外部であっても、コンテナや添付を選択的にワイプ可能

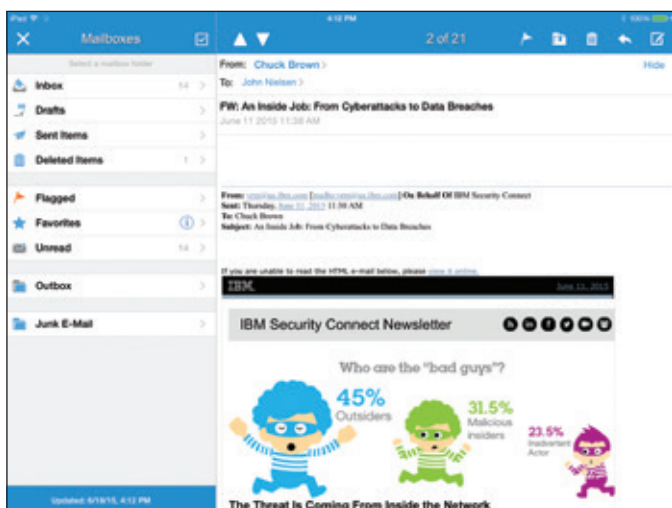


図 1: コンテナ、受信ボックス、メールのデバイスでの表示例

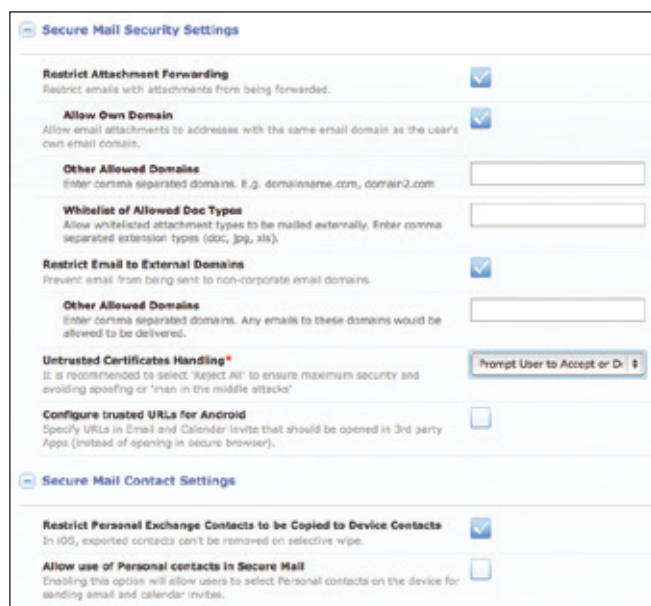


図 2: MaaS360 Secure Mobile Mail のセキュリティ設定の例

インフラストラクチャーとの統合が簡単

- 既存の Exchange ActiveSync インフラストラクチャー上に構築
- Active Directory を使用して、認証や承認を簡素化
- Office 365 や Gmail などのクラウド電子メールをサポート
- 強固な電子メール・セキュリティを、メール・データとはインラインではないデバイスレベルで統合
- MaaS360 は、機密のメール・データにはアクセスしません
- パフォーマンスや停止のリスクが増えることはありません

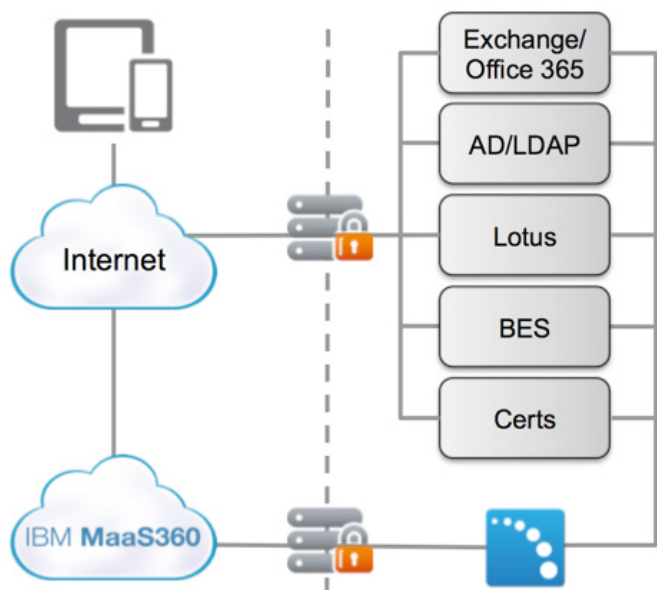


図 3: MaaS360 と IT システムの統合の概要

継続的なセキュリティのアラート、報告

- 自動化されたコンプライアンス強制アクションを設定可能
- コンプライアンス違反に関するアラートを自動的に受信
- 自動または手動での介入で、即座に対処
- セキュリティおよびコンプライアンスに関する履歴をグラフィカルに表示

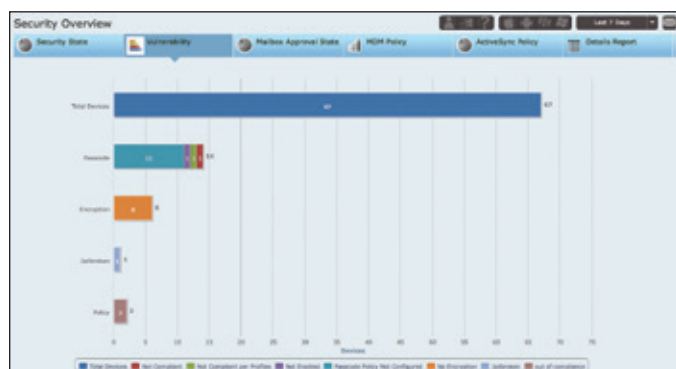


図 4: MaaS360 セキュリティ・レポートの例

会社のメールを含める

メールは、依然としてスマートフォンやタブレットでの必須のアプリケーションですが、同時に組織のモバイル・セキュリティやコンプライアンス・ポリシーにとっての課題でもあります。

MaaS360 Secure Mobile Mail は、ビジネスメールや添付を保護することで、社員の外出先での生産性を維持しながら、企業データの漏洩を防ぎます。

主な特長

- メール (本文と添付の両方)、カレンダー、連絡先をコンテンツで保護
- 認証を有効化し、許可されていないメール・アクセスをブロック
- メールへのアクセスの前に、オンラインおよびオフラインでコンプライアンスチェックを実施
- iOS と Android の両方で、FIPS 140-2 準拠の AES-256 暗号化を使用
- 添付を直接アプリケーションで表示
- ファイルのコピー、移動場所をコントロール
- 転送、他のアプリケーションへの移動、コピー、貼り付け、画面のキャプチャを制限
- 電子メールの外部であっても、添付を選択的にワイプ可能
- コンテンツの保存、表示、編集、共有は MaaS360 Content Suite 内で行われます

IBM MaaS360 の詳細と 30 日間の無料トライアルのご利用については、次の Web サイトをご覧ください:

www.ibm.com/maas360



© Copyright IBM Corporation 2016

IBM Systems and Technology Group
Route 100
Somers, NY 10589

Produced in Japan
February 2016

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および X-Force は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。BYOD360™、Cloud Extender™、Control360®、E360®、Fiberlink®、MaaS360®、MaaS360® およびデバイス、MaaS360 PRO™、MCM360™、MDM360™、MI360®、Mobile Context Management™、Mobile NAC®、Mobile360®、MaaS360 Productivity Suite™、MaaS360® Secure Mobile Mail および MaaS360® Content Suite、Simple. Secure. Mobility.®、Trusted Workplace™、Visibility360®、および We do IT in the Cloud.™ およびデバイスは、IBM 社の一員である Fiberlink Communications Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または他社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、次の Web サイトをご覧ください。 ibm.com/legal/copytrade.shtml でご覧いただけます。

Apple、iPhone、iPad、iPod touch、および iOS は、米国、その他の国における Apple Inc. の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、IBM によって予告なしに変更される場合があります。掲載されている製品・サービスは IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。

性能データとお客様の事例は、説明目的のみのために提示しています。実際の性能結果は、特定の設定や運用条件によって異なる場合があります。他社の製品またはプログラムと IBM の製品またはプログラムを併用した場合の操作の評価および検証は、お客様の責任で行ってください。

本資料の情報は「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性に対する保証、および非侵害の保証または条件を含め、いかなる明示的または黙示的な保証も行いません。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

適用されるすべての法令と規則の順守は、お客様の責任範囲とします。日本 IBM は、法律上の助言を提供することはいたしません。また日本 IBM のサービスまたは製品が、お客様においていかなる法を順守していることの裏付けとなることを表明し、保証するものでもありません。

IBM の将来の方向性および指針に関する記述は、予告なく変更または撤回する場合があります。

確実なセキュリティ体制への取り組みについて:IT システムのセキュリティでは、社内外の不適切なアクセスの防止策、検出、対応に取り組むことで、システムと情報を保護しています。不適切なアクセスにより、情報が改ざん、破壊、または不正流用される可能性があり、システムへのダメージや他者への攻撃といったシステムの悪用が生じることがあります。IT システムまたは製品によってセキュリティ対策が万全になると考えることは危険であり、1 つの製品またはセキュリティ対策で不正アクセスを完全に有効に防ぐことはできません。IBM のシステムと製品は、包括的なセキュリティ・アプローチの一部として設計されています。そのため、運用手順を追加することがどうしても必要となり、効果を最大限に高めるには、他のシステム、製品、サービスが必要になることがあります。IBM は、システムと製品が他者による悪意のある行為または不正行為から免れることを保証するものではありません。



Please Recycle